

2026－27 年度 学友委員会活動方針

学友委員会

委員長 板橋真仁

学友委員会活動目的

学友委員会の活動目的はロータリー青少年プログラムに参加して得た知識と経験を共有し若い次の世代へ繋いでいくこと、次世代のリーダーを育てリーダーシップスキルを身につけ、奉仕の価値観を育てていくことを活動目的と考えます。又ローターアクトへの入会、将来のロータリアンに繋げるために活動致します。各クラブには学友の把握と関係継続をお願いします。

学友とは

ロータリー青少年プログラム参加経験のある者。

青少年交換学生（帰国生）

ローターアクト、インターアクトの卒業生（OB、OG）

- ・ インターアクト（IAC）
- ・ ローターアクト（RAC）
- ・ ロータリー青少年交換（ROTEX）
- ・ RYLA
- ・ 米山記念奨学生 等

上記のプログラムでは地区の内外で各学友会が組織されています。当地区は各学友を繋ぎ学友の輪を広げることを目指します。

活動計画

1. 会員増強、財団、IAC、RAC、ROTEX、RYLA、米山記念奨学会、各委員会と連携し学友リスト、及びネットワークを構築する。
（プライバシーポリシーに従い個人情報の管理をおこないます）
2. クラブは以下の実施を支援する。
 - 1) 青少年プログラムへの積極的な参加
（インターアクト、ローターアクト等の活動参加支援）
 - 2) RYLA への積極的な参加支援
（参加者の基盤を広げる、ローターアクト会員増強の機会を得る）
3. 『第2回ロータリーファミリーin 福島』の実施
今年度大変好評を頂いた体験発表会を次年度も開催いたします。
（日時場所未定）学友会ミーティングを実施する IAC、RAC、ROTEX、財団奨学生、米山記念奨学生それぞれの活動又体験を発表、意見交換を行います。

4. アフターRYLA の開催（RYLA 委員会との協力）

ローターアクト委員会との協力で開催を考えております。

奉仕作業を一緒に行い関係性の継続と発展を考えています。

学友委員会はロータリアンの理解を得、青少年プログラム参加経験者のネットワークを構築し、一過性の活動に留まらず、その意志有る者に持続可能な活動の場を提供し支援する委員会です。将来の会員候補者である学友をプログラム参加で参加で留まらず関係を繋いでいきましょう。